



**2022年度 年主題「つながって～今、わたしを生きる～」**

**0・1・2歳児 11月主題「みつけた/じっくりと」**  
 月のねがい  
 ◎保育者の「ありがとう」という祈りを通して神さまを感じる  
 ◎神さまがくださった豊かな恵みに気づき、味わうことを通しても感謝する  
 ◎友だちとの関わりを楽しみ、様々なことを共有しながら気持ちを深める  
 ◎木の実や葉を拾ったり集めたりし遊びに取り入れ楽しむ

**3・4・5歳児 11月主題「分かち合う」**  
 月のねがい  
 ◎神さまの恵みを感謝して分かち合い、共に賛美し、祈りを合わせることで表す  
 ◎神さまがすべてのものを創り育み、愛してくださっていることを知る  
 ◎友だちとイメージを合わせながら、一緒に作ったり、ごっこ遊びをすることを喜ぶ  
 ◎友だちと思いや考えを合わせたり、思いや考えの違いを調整し合って遊ぶ  
 ◎一人でも、仲間と共にでも、じっくり取り組む楽しさを味わう

**「一緒」って楽しい嬉しい!!**

先日運動会は、前日までどうなるのか心配しましたが、予想以上の好天に恵まれ、屋外で開催することができ感謝でした。今年度は保護者の方だけでなく、祖父母の方々にも来臨して頂き、賑やかな応援のもと、子どもたちも最後まで頑張る姿を見せてくれました。保護者の方々には、設営や撤収のご協力を頂きありがとうございました。

先日、2歳児のHくんとYちゃんがいっしょに座って、こんな会話をしていました。Y「Y、おしっこでたー!」H「すごーい! あっ! Hもでたー! やったあ!!」Y「やったー! 一緒だね!」と、かわいいうり取りが聞こえます。2歳児でも友だちのことを褒めたり、一緒に喜んでくれます。「友だちとおんなじ」が嬉しいという感情が伝わってくるやりに取りまわりました。

また、おすもう大会の4歳児の取り組みでは、1対1での取り組みでは、緊張と恥ずかしさでもじもじしていた子もいました。しかし、最後に友だちみんなで先生と取り組むことになると、あのモジモジはどこへ行ったのか、蹲踞も四股踏みも意欲的に始め、驚かされる姿もありました(笑)

改めて子どもたちの一つ一つの会話や姿を観察すると、園での友だちと一緒に過ごす楽しさ、一緒にやり遂げる嬉しさの中に、私たち保育者も関わっていることに喜びと幸せを感じることでした。

まだまだ行事の多い二学期です。運動会が終わりホッとしたのもつかの間。子どもたちはクリスマス会に向けておけいこが始まります。日々の中にある子どもたちの会話や様々な姿に耳や目を傾け、共に楽しみ、喜び、時には解決に導いたり、集団の中の関わりがよりよいものになっていくよう援助していけたらと思います。主任 伊豆元

**今月の聖句 「あなたの隣人を 自分自身のように愛しなさい。」** レビ 19:18

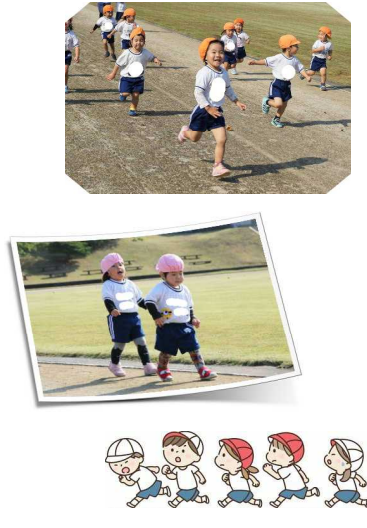
聖書は自分を犠牲にして他人を愛しなさいとは教えません。自分自身のように、隣人を愛しなさいと教えます。本当の自己愛は、自分だけを大切にすだけに留まらず、隣人も同じように大切に扱うようになるということです。

自己愛と利己愛は違います。利己愛はあくまでも自分中心、自己陶醉、ナルシズムです。ナルシズムという言葉の由来は、ギリシャ神話の中にあります。美青年で若きナルキッソスは、ある時、泉水に映る自分に見とれ、自分に恋をしてしまいます。そのあげく、水面に映る姿にうつつを抜かし、水の中に落ちて溺れてしまうのです。そこから自己陶醉というナルシズムという言葉が生まれました。

自己愛とは、自己陶酔的利己愛とは全く違います。人は、お金であれ、技術であれ、才能であれ、自分にはないものを他人に差し出すことは出来ません。私たちはただ自分の持っているものの中から、その一部を分け合うだけです。そういう意味で、自分には何かがあるのを見極めるということが、自分を受け入れることだという事が出来ます。そして、自分を受け入れた時に初めて、偏った価値観や周りの目に縛られることなく、核となる自分を持って生きる人間になることが出来ます。

それは、努力して簡単に手に入るものではありません。様々な環境や経験が育て上げていくものです。子どもたちが園で経験することも、その一助になっています。そのような大きな視点を持って、子どもたちを見守ってあげたいものです。

協力牧師 池田基宣



**11月の行事予定**

5日(土)	おまつりごっこ
9日(水)	給食バイキング(3才以上)
10日(木)	10・11月生誕会(2才以上)
12日(土)	めぐみ誕生会
16日(水)	持久走試走
19日(土)	持久走大会・役員会・職員研修
21日(月)	持久走予備日
26日(土)	入園説明会13時半～
30日(水)	クリスマス会予行・弁当日

**12月の行事予定**

10日(土)	クリスマス会
13日(火)	12・1月生誕会(2才以上)
16日(金)	もちつき大会
17日(土)	めぐみ誕生会
20日(火)	2学期終園式
28日(水)	弁当日

**令和4年度入園説明会**  
**11月26日(土)**  
**13時30分より**  
**1号入園願書受付開始**  
**12月1日(木)**  
 ご紹介を宜しくお願いします!



**園だより**

園でも運動遊びや体操を通して身体機能を高めています。一番自然に取り込めるのは、やはり自由遊びに集中しているときではないでしょうか。起伏のある坂道や土手の上り下り、雲梯渡りやスクーター漕ぎなど、指示もなく友だちと夢中になって取り組んでいる遊びの中こそ、健康やかな体は作られていくと思います。寒暖の差を感じるこの頃、突然の発熱も多くみられる時期です。子どもたちはなるべく薄着を心がけ、うがいや手洗いの励行を続けて冬に備えてまいりましょう。

また、子どもの姿勢には小脳が深く関係していると言われています。小脳には、体のバランスを司り、運動の円滑さを制御する役割があるそうです。そして、その小脳機能が発達するのは、やっぱり外遊びが大切だということになるわけですね。そこで評価されるのが「昔ながらの遊び」です。まずは、「だるま」がころんだ」では、動から静への変換能力や静止する体のバランス保持。また、走り中の体位変換や足底での地面把握など強化されます。次に「ドッジボール」では、ボールを避ける際の急速な体位変換や走り投げ(転がし)による体幹の固定で様々な筋肉が強化されます。その他「かくれんぼ」のぼり棒「竹馬」等々、昔ながらの遊びがたくさんあります。どれもこれも、腹筋や背筋などの「体幹筋」と呼ばれる部位を使っているわけですね。体だけでなく、ルールを学んだり仲間意識を養ったりして、協調性を育む効用も期待できるのです。昔から伝承されてきたあそびは、単に「遊ぶ」ということだけではなく、まさに「このころからだの発達」を促す大切な役割があることがわかります。

**さんぽのすすめ**

先月は、はう運動のすすめと題して、幼児期のしなやかなからだづくりについて書かせてもらいました。今月は引き続き、散歩を通してその効果についてふれたいと思います。

- 朝のきれいな空気を吸って散歩したり、爽やかな風に皮膚が触れたりすると、自律神経が刺激されその働きが強まります(風邪をひきにくくなるのもこうした作用からです)
- 歩く運動は、全身の関節や筋肉を適度に使います。よって、足・腰が丈夫になります。
- 歩く運動は、心臓への血液の戻りを活発にして血液循環をよくします。よく歩くと心臓を丈夫にするといわれます。
- 血の循環が良くなるので、手や足の指のしもやけなども生じにくくなるといわれます。
- 歩くと、大便の出が良くなり便秘を防ぎます。
- 歩くことが気持ちいと、ドーパミンというホルモンが分泌し、幸福感を作ると共に、精神力も高めるといわれます。

**さんぽのすすめ**

☆乳児でまだ歩けない場合は  
おんぶして少しの間戸外にて散歩を楽しみます

☆幼児初期でまだ上手く歩けない場合は  
ベビーカーに乗せたり、降ろして少しだけ歩かせたり、あるいはおんぶして大人も子どもも共に楽しめる戸外への散歩を短い時間行います。

歩行は夜より朝(朝食前)行うのが健康のため、体作りのため有効です。距離にして2～3キロ、時間にしたら30～40分歩くことで、大脳の働きが良くなり精神力を良くすると言われてます。いやいや歩くと効果は少ないようです。実生活からすると難しいと思うかもしれませんが、子どもたちの健やかな生活習慣を作り上げていく大事な時と思うと、何にも変えられない宝の時間となると思います。

園長 園師 愛

